

○事業所名	えのん塩川		
○保護者評価実施期間		2025年11月6日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間		2025年11月6日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースを確保し、個別活動を充実させることで、子どもが集中し十分に体を動かせる環境が整っている。	活動内容や人数に応じて部屋やスペースを配置し、落ち着いて取り組める個別活動の場を設定している。身体を動かす活動と静かな活動を分け、安心して集中できる環境づくりを行っている。	活動の目的や子どもの状態に応じて見直し、より集中しやすく安心して活動できる場を整えていく。
2	年齢や発達段階に応じた関わりを意識し、集団活動と個別活動の両方を取り入れ成長を支えている。	活動前にねらいを共有し、集団と個別活動それぞれの良さを活かし、無理なく参加できる工夫を行っている。	一人ひとりの様子を記録し、活動内容や関わり方を見直し充実を図っていく。
3	異年齢や多様な特性への理解を踏まえ、専門機関との連携や専門的支援にも取り組んでいる。	専門職員が病院や関係機関とのカンファレンスを行い、情報共有と支援の方向性を確認している。	専門機関との連携を継続し、カンファレンスで得た情報を職員間で共有し、支援の統一を図る。専門的な助言を日々の関わりや環境調整に反映し、より質の高い支援につなげていく。
4	異年齢(未就学児)が同じ場で過ごすことで、年上の子は年下の子を気にかけたり、教えたりする経験を通して、思いやりや責任感が育ちやすい環境づくりをしている。	活動内容や役割を工夫し、異年齢と自然と関われる場面を設定している。職員が仲立ちしながら関わりを支え、安心して過ごせるよう配慮している。	年上の子が「お兄さん」「お姉さん」として認められる場面を増やし、声かけや関わりを通して役割意識が高まるよう支援していく。年下の子との関わりを通して自信につながる経験を積み重ねていく。
5	実際に体を動かし、見て、触れて、感じる実体験を大切にしている。	実体験を重ねることで、知っていることやできることが増え、選択肢が広がるよう支援している。	経験を通して得た気づきを大切にし、自分で考えて選択できる力につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有や会議の十分な時間の確保が難しい状況がある。	送迎範囲が広く、職員の配置や時間調整に制約が生じている。	新事業所と送迎範囲を分けることで、送迎の効率化を図り、人員確保と時間調整を進めていく。

2	研修参加者に偏りがある。	業務の都合や人員配置の関係で、研修に参加しやすい職員としにくい職員に偏りがある状況になっている。	報告の場を設けて研修内容を共有し、全体で学びを深めることで、事業所全体のスキル向上につなげていく。
3	外部から講師を招いて知識を深める研修の時間や機会を十分に確保できていない。	研修時間の調整が難しい状況がある。	計画的に研修時間を確保できる体制を整えていく。

事業所名	えのん塩川	公表日	2025年12月26日					
		利用児童数	36	回収数	23			
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			3	何人いるかわからない	基準人員に加え、基本的には加配人員と専門的支援体制の人員を配置しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		1		今後スロープ設置を検討中です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23				言語聴覚士の方に支援して頂けるのが心強く助かります。言語聴覚士の方がいるので会話訓練や集団訓練をして頂ける点はとても大きいです。子どもにとってプラスになります。	リハビリ職、保育士、児童指導員等、専門職員による専門的支援をより充実させることができるように日々の活動内容を工夫していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				心配事は都度知らせているがしっかりと保護者の話しを聞いてくださっているのを感じます。	ありがとうございます。みなさんいつでも声かけ下さい。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	3	4	9		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	3	8	他の保護者の方と交流できる機会があれば嬉しいです。 参加できるかは分からぬが・・・	今後どのように開催できるか検討中です。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1	1		お迎えの際その日の活動を教えてくださるのでありがとうございます。	保護者の方にお子さまの様子をできるだけ伝えられるよう、今後も努めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	3		3	インスタ写真を見ながらお友達の名前を聞いたりどんな活動をしたのか話しています。通い始めて日が浅いのでわかりませんが送迎であった時に様子を教えてくださりそんなときはこうしたら良くなりましたという感じで私たちも学びや気づきが増えています。	ありがとうございます。今後も一緒に支援を考えていくたらと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	5	11	何かしらの機会があったら嬉しいです。	今後検討中です。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	4		3	インスタの更新を楽しみに拝見しています。子どもの話ですとまだ避難訓練の日に行っていないとの事。一度は訓練の日に利用できたらと思う。	訓練は月1回実施していますが、毎月曜日を固定せず色々な曜日で設定しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	2		1	もし、放ディ利用中に災害等が発生した際どこに避難するのかどのように引き渡しをするのか知っておきたいです。	マニュアルは玄関に掲示してありますので、ご確認お願いします。またコノベル等で、適時避難場所や引き渡し方法について周知する機会を設けたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	3		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22			1	子どもは安心できる場所だと言っている	より良い場となるよう職員一同努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22			1	活動内容も楽しみにしていて勉強も分からぬところを教えてもらえてとても助かります。	ありがとうございます。今後もお子さまがたの色々な経験を大切にしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23					

事業所名	えのん塩川
------	-------

公表日

2025年12月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・危険がないよう児童同士を離したり、休息、個別対応の場も確保できている。 ・グループ分けをして人数調整している。 ・活動の内容によって、人数や部屋を分けて使用している。 ・パーテーションや部屋でグループ分けを起こしている。 ・職員の部屋があふる。 	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・配置としての人数は十分。加配もとれている。 ・声を掛け合いながら支援している。 ・個別ではグループごとに少人数活動を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門のニーズが高いが職員が兼務で対応している。 ・送迎等により活動のタイミングで職員が少ない。余裕が必要。送迎範囲の縮小。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子も対応（トイレ等）。 ・手洗い場の高さ。 ・情報は写真や見学時に知らせている。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃、破損した遊具の修理、口に入る玩具の管理を行っている。 ・活動に合わせてスペースを分けられている。 ・危ないもの置かないようにしてあります。 	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・充分スペースがとれている。 ・職員で声をかけあって、どこにいるのかを共有。 ・活動やその子に合った使い方ができている。聴覚過敏など。 ・児童の特性に合わせ、少人数グループにすることがある。 ・疲れたら休める静養室を設けている。 ・個別活動でそれぞれの環境作りをしている。 	
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日振り返り、活動反省会をしている。 ・支援の目標を確認して共有している。 	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		<ul style="list-style-type: none"> ・これから行う予定。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分散、役割など日々話し合えている。 ・職員同士の意見交換がきちんと行えている。 ・少しの時間でも情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識がつけられるとよい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			第三者による外部評価の実績なし。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・リタリコも含め研修は必要そうなものを開催している。 ・チラシなどをボードに貼り、見やすくしている。 ・AEDの場所や車内でてんかんが起きた時など職員内で研修をした。 ・様々な研修が開かれている。 ・作成済、HPに公表済。 	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の姿、家での姿など丁寧に聞き、落とし込んでいる。 ・保護者からのニーズをきちんと聞くことができる。 ・ファイルに保管されていて、職員がいつでも見れるようになっている。 	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議をひらき共有。 ・他のスタッフにも聞くことのできる雰囲気がとれている。 ・日々情報交換を密に行っている。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画をみながら活動を考えている。 ・スタッフが個別ファイルをいつでも目を通せるようになっている。 ・支援前に目を通している。 	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・検査結果などのデータも参考にしながらアセスメントをしている。 ・リタリコを使用し、必要に応じて支援記録を見返している。 	・整備してブラッシュアップされるとよい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員、家族も何をするのか分かりやすいように具体的に書くよう心掛け設定している。 ・見やすく1枚になっている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・チームをつくり話し合いながら行えるようにしている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し必要なもの、更に5領域を踏まえ行っている。 ・毎日違うメンバーに合わせて作る。 ・その都度柔軟に組んで発展させている。 	・マンネリ化しないようにしているが、その児によっては日々の継続が必要なことは繰り返し行っている。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、個別、集団活動時間をとっている。 ・話し合って考えている。 ・月予定を作成し、活動を行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝礼で確認。 ・支援の内容や活動を話し合ったり報告したりしている。 ・打ち合わせができる時間がとれている。 ・意識して行っている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・時間をとり振り返りを行っている。 ・話し合ができない日は次の日に行うよう心がけている。 	・帰りの送迎でいない職員もいる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・リタリコを使用し、支援記録を入力している。（毎日） ・記録を入力だけでなく会議で共有。 ・記録の声掛けは徹底している。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・6か月を待たずに必要に応じて、面談、モニタリングを行っている。 ・保護者の相談に応じ、面談時間を設けている。 ・職員が意見を出し合い、よりよい支援を検討している。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自立、日常生活の充実、創作表現体験、余暇の提供、地域交流は考えて計画。 ・集団もしくは個別活動の中で行うようにしている。 ・他の職員と共有しながら行えている。 	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自己選択決定のための表現も大切にしている。 ・子どもたちが興味のあるものから選択できている。 ・判断に迷う児に対しては「どうする?」「どちらがいい?」など個別に対応している。 ・活動をそのまま進めず、ゆっくり考える時 	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員の参加。必要に応じて専門職員も参加している。 ・単会に参加するときは、話す内容をまとめてから参加している。 	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・担当者会議だけでなく、必要に応じ、相談員にも伝え連携している。 ・問題を先延ばしにするのではなく、すぐに連絡をとるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・その都度連絡し確認。 ・送迎の時間に学校での様子などを話している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	・就学の際に、会議にて理解、情報共有している。スムーズに移行できるようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		・まだ卒業生を出していないため、今後検討し実施予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	・事業所内で解決できないことは、相談員を通し助言いただきたい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	・めごぶらざなどを行った。	・交流の場はまだないが、今後機会ができるとよいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	・会議への参加は必ず1名、もしくは2名で行っている。	・参加したことの職員も参加できるようにする。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	・送迎の際に活動した内容を簡潔に伝えるよう心掛けている。 ・送迎の際にどんな目標でどんなことをしたのか保護者に報告している。	・連絡アプリでの状況や、1日の様子の報告は十分に伝えきれていない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・家族への意向確認中。まだどのように開催するか検討中。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	・契約の際に説明。必要に応じて再度説明することもある。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・面談にて確認。一緒に検討し計画に取り入れている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・送迎の際などに説明しサインをもらっている。同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・面談の実施。必要に応じて電話等での対応。 ・送迎の際に活動の内容を伝えたり、話しやすい雰囲気を心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7		・父母の会を今後開催予定。今検討中。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・苦情について会議を開き対応。相談員さんとの連携、共有。 ・すぐに面談を行い、相談員にも報告している。 ・すぐに色々な職種の方と連携している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・コノベルやInstagramで活動内容を発信している。コノベルにて予定も伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個別ファイルに入れ、鍵付きロッカーへの保管。キャビネットは閉めている。 ・保管場所に戻すなど徹底していると思う。 ・SMS等の写真の確認はみんなで行う。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・その子に応じた対応の検討をしている。 ・保護者からの連絡メールなどを用いてやり取りしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	・作品展の開催。 ・ハロウィンパーティーの実施。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がすぐに見れるように玄関先に置いている。 ・マニュアルは職員も目を通すよう周知している。 ・計画をたてて訓練実施できている。 	・訓練日、訓練状況は伝えているがマニュアルとしての周知は十分ではない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回避難訓練の実施。 ・計画を立てて実施できている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの家族と相談し、必要に応じてマニュアル作成。 ・マニュアルを職員同士で共有理解している。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に紙で確認済。必要に応じて検査結果も共有。 ・アレルギーの診断書を持ってきてもらうようしている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確認の実施（車、遊具等）。 ・職員研修の実施。 	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が確認できるように玄関先においてある。 ・保護者との話し合いの中で、不安な部分などを聞き、安全の周知をしている。 	・安全計画の家族への周知は十分ではない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・1回ごとに事案をまとめ提出し、共有、検討している。（どんな経緯でどうなったか） ・小さなことでも情報共有し、職員同士で伝えている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月職員のセルフチェック、研修の実施をしている。必要に応じて上司と面談を行っている。 ・定期的な研修会を行っている。 ・資料にも目を通すよう心がけている。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・説明や、今後についての検討を行っている。 ・記載した上で、身体拘束をしてしまった場合に、その都度理由を伝えて報告している。 	